



Title	北海道大学免疫科学研究所集談会記録
Citation	北海道大学免疫科学研究所紀要, 39, 58-58
Issue Date	1979-03
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/26526">http://hdl.handle.net/2115/26526</a>
Type	bulletin (article)
File Information	39_P58.pdf



[Instructions for use](#)

## 北海道大学免疫科学研究所集談会記録

### 第33回 (昭和53年1月17日)

石原智明: ブドウ球菌外毒素, Exfoliation に関する最近の報告から.

塩川洋之: ミエローマ蛋白質およびフラグメントのリガンド結合部位に関する最近の研究.

### 第34回 (昭和53年2月14日)

見上 彪: マレックス病の免疫.

### 第35回 (昭和53年3月23日)

柿本七郎: 研究所を去るにあたって.

### 第36回 (昭和53年6月13日)

坂井留女: 主要組織抗原の部分的一次構造について.

森川和雄: 「フチオン酸」から「ムラミル・ダイペプチド」へ——類上皮細胞性反応50年の歩み.

### 第37回 (昭和53年7月4日)

加藤一之: アレルギー性気管支肺アスペルギルス症について.

西江 純: W-7783, a Unique Antifungal Antibiotic  
文献: J. Org. Chem., **42**, 3664 (1977).

### 第38回 研究報告会 (昭和53年9月12日)

1. 上参郷慶一・関川 勲: adjuvant 作用を持つムラミン酸アナログの合成.
2. 外岡秀一: NAD の4-置換ピリジンアナログ類の酵素的合成.
3. 笹原靖彦・外岡秀一: 4-アミノニコチンアミドリボスクレオシドの酵素的合成.
4. 関川 勲・高橋由美子: 葉酸アナログの合成.
5. 坂井留女・塩川洋之: Mitogenic Factor について.
6. 高沢俊英: Creatine Kinase について.
7. 水野佑亮・相原耕二・塩川洋之: アシルホスファターゼの精製.
8. 小幡文弥: 金属結合数の異なる Con A とその沈澱活性.
9. 佐藤 昇・塩川洋之: ブタとウサギの Adenylate Kinase の交叉反応性.
10. 佐藤 昇・塩川洋之: 抗原活性フラグメントの

TNBS による化学修飾.

11. 菊地 敏・柿沼光明: マウス抗 ARS 抗体のイデオタイプ.
12. 清水正秀・木村卓郎・大原 達: 免疫寛容誘導におけるウサギ胸腺における役割.
13. 清水正秀・木村卓郎・柿沼光明・大原 達: 胸腺内抗原注射によるサプレッサー細胞の誘導.
14. 木村卓郎: LPS による肺および脾肉芽腫反応のマウス系統差.
15. 岡田昌彦・木村卓郎・柿沼光明・山本健一: BCG 細胞壁に対するマウスの反応の系統差.
16. 柿沼光明・山本健一・加藤一之: BCG 細胞壁に対する肺肉芽腫反応の遺伝支配-H-2 複合体の関与.
17. 山本健一・加藤一之・柿沼光明・奥山春枝: 6-O-mycocoyl-N-acetyl-muramyl dipeptide によるマウス肉芽腫形成と結核感染防禦.
18. 加藤一之・山本健一・柿沼光明・木村卓郎・岡田昌彦: BCG 細胞壁に対する免疫応答.
19. 大石 勉・奥山春枝: B/J ウサギにおける Be 症の DTH と肉芽腫形成について.
20. 大石 勉・三村信輔: B/J ウサギにおける Oxazolone 過敏症.
21. 安水良知: モルモットリンパ球表面レセプターの変化.
22. 森川和雄・岡部実裕・奥山春枝: 合成ムラミルペプチドの類上皮細胞分化能.
23. 酒井一郎・有馬 純: 化学療法開始後の喀痰中結核菌の形態と増殖力の変化について.
24. 佐々木昭雄・酒井一郎・丸谷竜司: ホスファチジルイノシトールオリゴマンノシド (PIM<sub>x</sub>) の免疫化学.
25. 永山能為・柴田正弘・佐々木昭雄: 結核患者血清の抗 PIM<sub>x</sub> 抗体について.
26. 久世彰彦・樽松三郎・柴田正弘: 肺結核強化化学療法における連日検痰成績.
27. 石原智明・森川和雄: モルモットにみられたブドウ球菌性熱傷様皮膚症状について.

### 第39回 (昭和53年10月3日)

佐々木本道: 染色体分染法とその応用.